

学びをレポート!

165号

myらいふ

Since 1985. 4. 25

myらいふは、
市民編集員が
取材・編集する
生涯学習情報です

今号の記事

- ① リトミック(かぬまマイ・カレッジ)
11/13(月)11:00~12:00 市民情報センター
- ② かぬま学びフェスティバル(かぬま生涯学習大学・かぬまマイ・カレッジ)
10/14(土)10:00~15(日)14:00 市民情報センターほか
- ③ 宮沢賢治を楽しむ会(かぬまマイ・カレッジ)
11/14(火)10:00~11:30 市民情報センター
- ④ 地域デビュー講座第2回
「南摩ダムと黒川取水放流工の見学」(生涯学習課)
10/18(水)9:30~12:30 南摩ダム・黒川取水放流工
- ⑤ 社交ダンスタンゴ(かぬまマイ・カレッジ)
10/24(火)10:00~11:30 市民情報センター



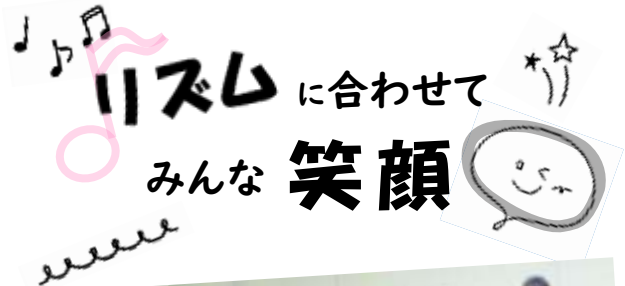
まなほ二やー



子どもを抱っこ、みんなで向かい合い「こんにちは」のごあいさつ。リトミック担当の星野敦子先生の元気な声かけと、ピアノのリズムに合わせてのウォーミングアップで、子ども達も親御さんも次第にリラックスし、笑顔になっていきます。11月13日(月)、かぬまマイ・カレッジ講座「リトミック」の3回目が開催されました。

タンバリンをハンドルにして出発!! 曲にあわせて歩きながら「ブブー」と音にあわせてたたきます。たくさんの道具を使いながらリズムに合わせてとんだり、はねたり楽しそうです。

それが終わると、子ども達はおもちゃ遊び。一方の親御さんたちは、産後と育児の疲れをほぐし、整えるためのストレッチタイムです。



9ヶ月と1歳3ヶ月の子ども達のお母さんは、上の子の時から受講しているそう。先生方には育児のヒントなどアドバイスもいただき、ママ友も出来ますよとにっこり。講師の佐藤秀子先生の『音楽』や『リズム』で子どもの心を豊かに、親子で体をいっぱい動かしてコミュニケーションをとり、親子の絆をつくりましょうという言葉どおり、親子で元気いっぱいになれる講座でした。

日頃の成果を発表しよう

10月14(土)、15(日)の2日間にわたり「かぬま学びフェスティバル 2023」が開催されました。2日間の開催は5年ぶりです。かぬま生涯学習大学とかぬまマイ・カレッジの共催で、日頃の学びの成果を発表します。今回も沢山の実演や模擬店、そして展示や体験コーナーが設けられました。1階の研修室では、茶の湯「裏千家へのおさそい」のコーナーがありました。



かぬま子ども秋祭り ⇒

← 遊び文字



↑ 太陽の観察



↑ サンキャッチャー & アクセサリー作り

実演ステージでは、フラダンス・ヒップホップ・オカリナ・ギターなどの色々な発表があり、会場を盛り上げていました。子どもたちの発表では、客席にいる保護者の方々から我が子を見守る思いが伝わってきました。

鹿沼自然エネルギー推進会では、太陽光発電機の展示と体験コーナーに多くの方が集まっていました。温暖化防止に向けて自然エネルギーの働きを知り、環境を守ることを目的としているそうです。太陽光を蓄電した電池で明かりを



⇒ 太陽光を蓄電し明かりを灯す機材(右)と竹あかり工作



灯す「竹あかり工作」では、筒状の竹に様々なサイズのドリルで穴をあけて完成させます。その穴からは灯した光がもれて優しく揺れます。体験していた男の子に話を聞きました。「穴を開けるのは難しく大変だったけどとても楽しかったです」と。

学びフェスティバルは大盛況のうちに幕を閉じました。一人一人が学ぶことで想像力・集中力が養われ、これから生きる力に繋がっていくのだろうと実感した「かぬま学びフェスティバル」でした。

宮沢賢治を 楽しむ会



賢治の自筆の書や足跡を辿った写真や碑等、テキストに沿って優しい口調で講義が進み先生の日常も交えて分かりやすく解説してくださいました。右の写真は賢治が敬愛するベートーベンの姿を模して撮らせた写真だったという話も有名です。

石島崇男先生の講座は、私が編集員を始めてから2回ほど取材していますが、休憩時間も質問が出るほど



↑賢治は「ベートーベン」と書いていたそうです

毎回人気の講座です。リピーターも多く「その都度新鮮で宮沢賢治そのものの世界に浸れる講座です」「前回の先生の生歌やフルート演奏など楽しい講座で先生に感謝しています」と感想をいただきました。

密かなブームの宮沢賢治の世界や古典文学を一緒に楽しみませんか。



雲ひとつない秋の青空。

目の前には完成間近の南摩ダムが…。

10月18日(水)、地域デビュー講座2回目の「南摩ダムと黒川取水放流工の見学」取材しました。参加者は14名、講師は水資源機構思川開発の職員さんたちです。

ダムサイト下流部から水のないダムを見学してから、いずれは水の底に沈んでしまう場所をバスで通りました。右岸天端では、見下ろすと足元がすぐわれそうになり、貴重な体験をしました。

完成間近の南摩ダム

⇒右岸天端からの眺め



2023年の夏も、異常な暑さや大雨が多くありました。いつ「水不足」「大雨被害」にあってもおかしくありません。ダムはそうした被害を防ぐための役割をもっているのだそうです。

これまで、見学会やバスツアーなど、沢山の人が訪れています。今回参加された方は「今まで知らなかったダムの役割を知る事ができた」「1年前にも見学したが、景色が変わっていた。なかなか見られるものものではないので良い体験ができた」とおっしゃっていました。

今度は、完成した水のあるダムをみたいです。



10月24日(火)かぬまマイ・カレッジ講座「社交ダンスタンゴ」を取材してきました。講師の世古宗友子先生は、社交ダンス初心者から競技選手まで幅広く指導されています。先生は、社交ダンスの魅力を「2人1組になって踊るので、相手を思いやり気遣う気持ちを育て、社交性が自然に身に付く」と話されます。

ダンスパーティー に行きませんか

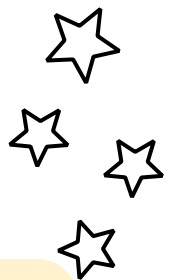
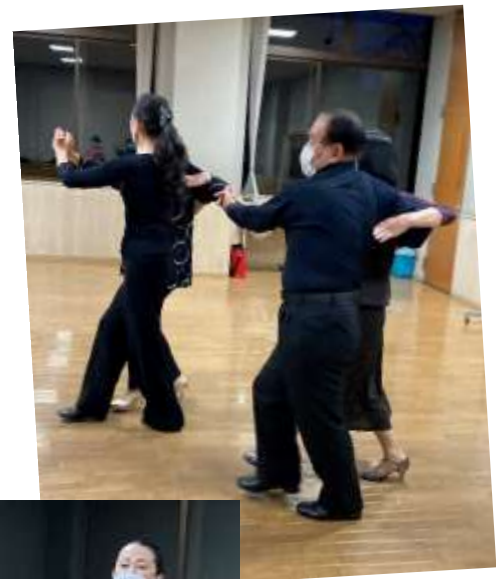


講座は、タンゴのステップ練習から始まりました。「クイック、クイック、スロー。クイック、クイック、スロー」と先生の軽快な掛け声が響きます。男性の受講生にエスコートされて私もステップを踏んでみました。同じ方向、同じ速さでパートナーに合わせるように動くと、自然に背筋が伸びて貴婦人になったような気分になりました。

「音楽を聴きながらリラックスして体を動かすことが心地良い。難しいステップが出来た時の達成感は最高」と話してくれた男性のご年齢は75歳。とても若々しく素敵なお方でした。

受講生の皆さんはダンスパーティーへの参加を楽しみにしています。年齢、性別を問わずどなたでも楽しく体を動かせる社交ダンス。素敵なメロディーの旋律に誘われてステップを踏んでみませんか。

最高！



編集後記

☆冬の空を見てください☆

星がきれいに見える夜は「明日はきっと良い日になる」と感じます。

今年も良い日が沢山訪れますように。

井上 恵理子